

## 起業って何だろう？

# ザ・ベンチャー留学 2006

レポート

### ～社長業は、たいへんでした！！？～

財団法人三重県産業支援センターでは、起業に関心のある学生を対象にベンチャー企業の社長のもとでインターンシップとして、ビジネスの最前線・真剣勝負の現場を体験するとともに、社長業について学ぶ「ザ・ベンチャー留学」を実施しました。

今年度は、8月1日～8月25日の夏休みの猛暑の中、5名の学生が県内のベンチャー企業5社に分かれて、各々5日間社長業を中心に学びました。

## 事前研修会

受講生5名が一堂に会し、(有)キャリア・プレイス伊藤社長からザ・ベンチャー留学に対する心構え、ビジネスマナー等についてご自身の起業体験を交えながらお話をいただきました。



## ザ・ベンチャー留学

各派遣5企業に5日間のインターンシップを実施。



## 事後研修会

各々の留学体験・成果を発表し、活発な意見交換を行いました。同じ留学仲間の様々な体験を共有することにより、互いの絆も深まりました。未来の起業仲間、ライバルとなるか！



## 「ザ・ベンチャー留学」を終えた感想は？

ここでは、留学生5名の各派遣先企業での  
体験レポートの一部をご紹介します。



(株)アイズ派遣  
**中川 直之さん**  
(兵庫県西宮市在住)

今回、「ザ・ベンチャー留学」を通して現実はいかに甘くないと思いました。社長と私は物事に関する考え方が違いました。初めの方は衝突もしていたが、社長から指摘され腹が立つということは凶星だからであります。そしてそれを真摯に受け止め、自分を客観的に見られるようになり、成長できた密度の濃い5日間がありました。



(株)アサプリーホールディングス派遣  
**水谷 翔さん**  
(桑名市在住)

「人間として善なる行為に取り組む姿」は最も人の心を打ち、理屈を超えた部分で人に安心感や、感動を与えるものであろう。そのような素晴らしい「人間という存在」を動かす力は、本当の生の現場でそのパワーに触れられた時だけに伝わるものではないだろうか。今回松岡社長のそのようなパワーに触れられて、自分がたった一週間という短い期間に大きな成長を遂げられたのではないかと思います。

### 伊賀の里モクモク手づくりファーム派遣



**小池 英樹さん** (三重郡菟野町在住)

「ザ・ベンチャー留学」を終えて何が変わったかという「考え方」です。組織を運営するのは、マニュアルで縛らなければいけないと思っていましたが、考える余地と行動の自由を各自に与えることにより、高いモチベーションを持ち行動できるのだと実感しました。

一見不合理で危険性があるように思いますが、得られるものも大きい事を知りました。この研修は、私の「考え方」に大きく影響を与えたと思います。



(有)キャリア・プレイス派遣  
**廣田 智史さん**  
(津市在住)

留学する前と比べて、ビジネスプランが増えました。どうすれば、お客様の利益に繋がるのか、常に考えていきたいです。大学を卒業してからすぐに起業するつもりはありませんが、「ザ・ベンチャー留学」での体験は、僕が起業した時に必ず役に立っていると思います。



(株)マイクロキャビン派遣  
**岩田 貴文さん**  
(東京都目黒区在住)

「ザ・ベンチャー留学」を通して学んだことは、主に事業計画の立て方と社主や社長の物事に対する捉え方であったと思います。しかし、反省点も多く、もっと(株)マイクロキャビン社の事業について事前に調査し、実際に使えるようなアイデアを出していけたら良かったと思います。僕は春休みに数ヶ月をかけてインターンをしようと思っているので、この経験を次に活かそうと思います。

## 起業を目指す方々へのベンチャー企業社長からの

# メッセージ

今年度のザ・ベンチャー留学を終えて、多忙の中ご協力いただきました派遣先企業の社長から、起業を目指す方々へのメッセージをいただきましたので、ご紹介させていただきます。



株式会社アイズ  
代表取締役  
**川邊 浩氏**

私は、最近先人の言葉は大変重要であるが、それは誰にも当てはまらないということを強く感じています。生まれも育ちも違うわけですから、感じるものが違うはずだということです。

ところが、昨今ブログやSNSのような情報を増殖するシステムに、人生の解を求めて漂流する若者が多いことに私は危機感を感じます。氾濫した情報は他人の事例であり、自分のものでないことを自覚して欲しいと思います。人生は、自らが判断してこそ解が見つかるものだと私は確信しています。時間を無尽蔵に持つ皆さんには、多くの事例を学び、たくさんの失敗と成功を自らの決断で経験していただきたいと思います。



株式会社マイクロキャビン  
社主  
**大矢知 直登氏**

起業家という言葉は、夢や希望、明るい未来を彷彿させます。

ところが、ほとんどの企業は設立後10年以内で消えてしまいます。米国では平均寿命5年とさえ言われています。起業するのは本当に容易い事です。

しかし、一旦起業した会社を存続させ、拡大してゆく事の難しさというものを、もう一度見つめ直していただきたいと思います。それを覚悟して船出をする強い意志があれば、大きな成功を手にする可能性大であります。



株式会社  
アサプリホールディングス  
代表取締役  
**松岡 祐司氏**

事業には「何の為に経営しているのか」と言う経営理念が大変大切です。社長が会社をどのようにしていきたいのかという想い、哲学、志です。ただお金が儲かれば何をしても良いのではなく、世の為になる大義名分が必要です。その考え方や人格が良くなければ短期的には良くても、長期的には必ず失敗します。良いビジネスモデルも大切ですが、経営のノウハウよりもまずこの良い心を持つことが大切です。そのためにもぜひ若いうちから、良い本を読み、良いお話を聞き、自分の心を高めることをお勧めします。



農事組合法人伊賀の里  
モクモク手づくりファーム  
代表社長理事  
**木村 修氏**

モクモクでは事業(ビジネス)と運動(社会貢献)の両立が何よりも重要だと考えています。事業が欠けると運動には持続性がなくなり、運動が欠けると事業はただの金儲けになってしまいます。昨今の複雑化した社会からは、これからのいろんなニーズが顕在化してくるでしょう。そんな社会情勢を見据えながらも、それに振り回されることなく、地に足の着いた理念やスタンスを見つけて、自分なりの事業と運動に挑戦してみてください。



有限会社キャリア・プレイス  
代表取締役  
**伊藤 登代子氏**

起業準備期間で鍛えておきたいスキルに「表現力を磨くこと」があります。どのようなビジネスでも人と人とのつながりから始まります。「相手が心を動かされるような」「もう一度会いたいと思っただけのような」そんな表現力を身につけることは、事業を行う上で強い力となります。表現力は、日々の積み重ねによって培われます。例えば、ブログを書く時、「どのように書けば人に伝わるのか」と考えるだけで「客観的に見る力」を育てることができます。自分らしい表現力を身に付け、クライアントの心をつかんでください。

### 担当者より一言

様々な思いで5日間のベンチャー留学を終え、9月9日の事後研修会では、受講生全員が素晴らしい体験発表を行なうことができました。これも派遣先企業の社長様、従業員皆様のご協力のおかげであり、心から御礼申し上げます。

また受講生の皆さんの今後のご活躍をスタッフ一同、お祈りいたします。

# 受講生募集中!

## ～平成18年度「ベンチャースクール・ベンチャー経営学講座」～

ベンチャー企業を経営するうえで遭遇する様々な経営課題の解決策を、豊富な事例研究に基づいた講義や討論を通じて習得します。

日 程	テ ー マ
11月19日(日)	ベンチャービジネス概論
11月23日(祝日、木)	専門講座①商品開発
11月26日(日)	専門講座②ITを活用したマーケティング
12月 3日(日)	専門講座③起業のニッチ戦略
12月10日(日)	専門講座④事業領域の転換戦略

**時 間** 10:00～17:00

**場 所** (11/19・23、12/3) 三重県吉田山会館 第206会議室  
津市栄町1丁目891

(11/26、12/10) 三重県教育文化会館 第2会議室、第4会議室  
津市桜橋2丁目142 Tel 059-228-1122

**対 象 者** 起業を目指す方で、起業前後に必要な、企業経営に関する知識を習得したい方  
創業5年未満程度のベンチャー企業の創業者  
社内ベンチャーを目指す方

**受 講 料** 5,000円(交流会費含む) ※但し、学生は半額

**定 員** 30名(先着順)

**総 司 会** 三重大学人文学部教授 渡邊 明 氏

**講 師 陣** 岐阜経済大学経営学部教授 野松 敏雄 氏

静岡県立大学経営情報学部教授 鈴木 直義 氏

奈良芸術短期大学染色コース主任 大谷 千恵 氏

企業経営者他多数

**募集期間** 10月17日(火)～11月8日(水)17時必着

**申込方法** 三重県産業支援センターのホームページ(<http://www.marugoshi.com/>)から「受講申込書」をダウンロードしていただき、ご記入の上、郵送、FAX、E-mailでお申込ください。



昨年度講座風景

問い合わせ先 財団法人三重県産業支援センター 新産業振興チーム 溝端・平野  
TEL: 059-228-3585 FAX: 059-228-3800 E-mail: school@miesc.or.jp